

2025/07/11 (予定) 機能追加

「奉行AIアシスタント」の性能向上 他 5 件

Ver.250630

奉行AI

「奉行AIアシスタント」の性能向上

お客様からのご要望を受けて、「奉行AIアシスタント」の性能が向上しました。

- マスターのコードや消費税率（%）、免税事業者等を含む仕訳伝票を検索できるようになりました。
例えば、以下のように入力すると検索できます。
 - 勘定科目が 4142 雑費、部門 62、補助科目 91 の仕訳を探して
 - 消費税が 8 % の仕訳を探して
 - 消費税区分が免の仕訳を探して
- 検索結果を 10 件以上表示できるようになりました。

性能が向上した「奉行AIアシスタント」を、ぜひお試しください。

詳細は、目的から探す「[「奉行AIアシスタント」の使い方](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力〕メニュー

取引入力

仕訳伝票を複写した際に、複写元の仕訳伝票と異なる日付で複写したい

仕訳伝票を複写すると、今までは、複写元の仕訳伝票の伝票日付が初期表示されていましたが、最終伝票日付やシステム日付も初期表示できるようになりました。

各メニューで〔F3：設定〕を押して、〔設定〕画面の〔運用〕ページの伝票初期日付で「複写時にも反映する」にチェックを付けると、最終伝票日付やシステム日付が初期表示され、そのまま起票できます。

対応メニュー

仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

摘要入力欄に、代入項目を直接入力したい

〔代入項目検索〕画面を表示せずに、代入項目を入力できるようになりました。

摘要入力欄に「@」を入力し、その後ろに「代入キー」を入力すると、代入項目の候補が表示されます。

補足

「@」を含む摘要が登録されている場合、摘要入力欄に「@」を入力すると、摘要→代入項目の順に候補が表示されます。

代入項目を直接入力する場合は、「@」の後ろにそのまま「代入キー」を入力してください。

対応メニュー

仕訳伝票を起票するすべてのメニュー

〔財務会計 - 取引入力 - 取引入力補助 - 定型仕訳伝票〕メニュー

〔財務会計 - 取引入力 - 取引入力補助 - 仕訳伝票予約〕メニュー

証憑

仕訳伝票の合計金額と、添付した証憑の合計金額を突合したい

証憑を参照したり、証憑項目を入力できる画面上に、証憑ごとの金額や合計金額が表示されるようになりました。

「「金額」列を表示する」にチェックを付けると表示されます。

仕訳伝票の合計金額と証憑の合計金額を突合することで、証憑の添付漏れや金額の入力間違いを防げます。

対応メニュー

会計帳票

前月や当月の元帳で、振戻仕訳・整理仕訳を集計したい

集計期間で「前月」や「当月」を選択した場合も、[仕訳伝票] ページで「振戻仕訳・整理仕訳を集計しない」のチェックを外せるようになりました。

前月や当月の元帳でも、振戻仕訳・整理仕訳を集計できるようになります。

対応メニュー

[財務会計 - 会計帳票 - 元帳 - 元帳] メニュー

その他

セキュリティ強化

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。